

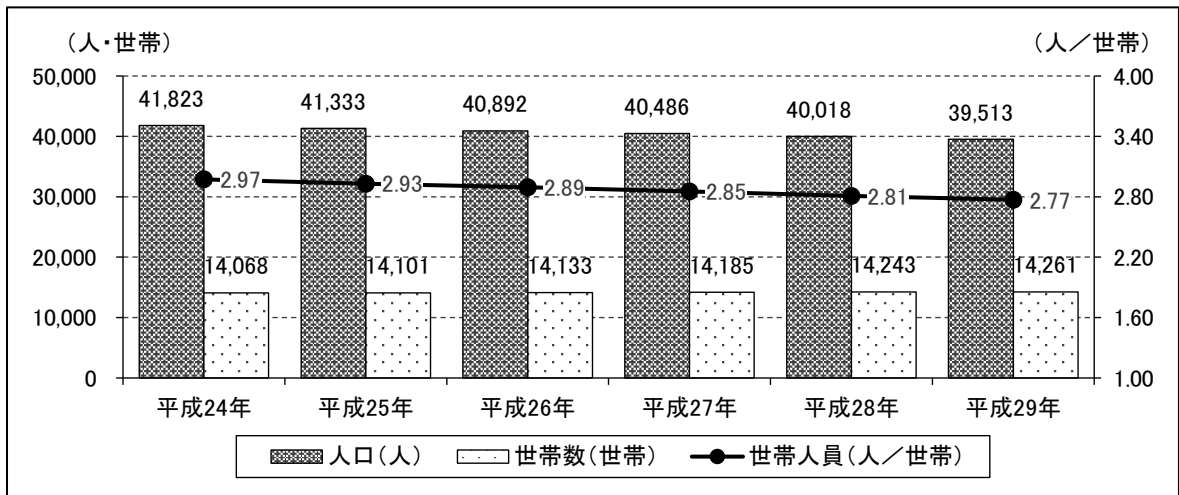
第2章 高齢者を取り巻く現状

第1 高齢者人口の推移

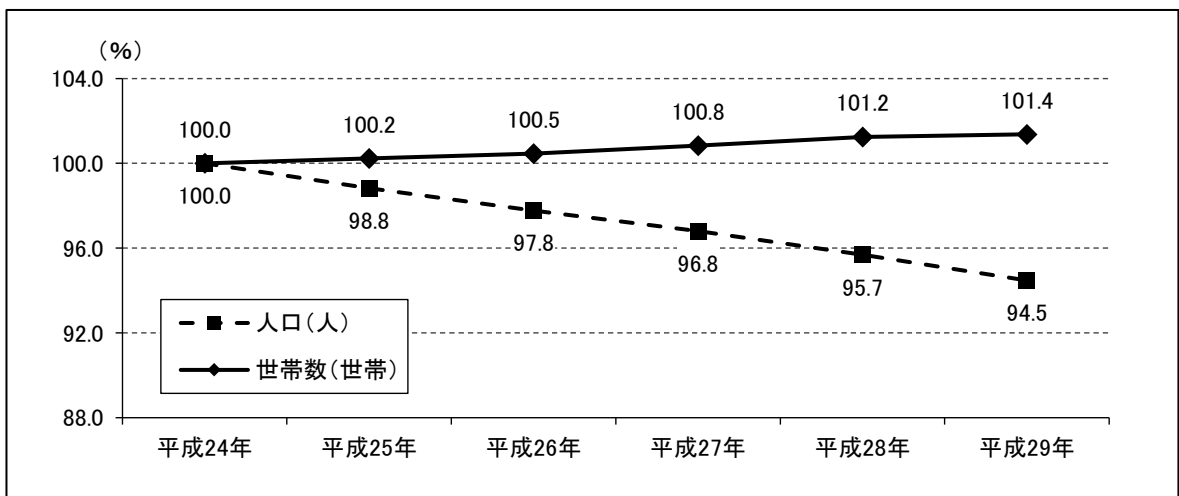
1 人口・世帯数の動き

本市の人口は、平成29年9月末現在で39,513人と、平成24年から約2,300人の減少（平成24年を100.0とした場合94.5）となっています。一方、世帯数は、緩やかな増加で推移しています。1世帯あたりの人口数を示す世帯人員は、平成24年の2.97人から平成29年で2.77人と小家族化傾向にあります。

◆人口・世帯数の推移◆



◆人口・世帯の伸び率◆



資料：住民基本台帳（各年9月末現在）

注：伸び率は、平成24年度を100とした場合の各年の増減割合

2 人口動態

人口の動きである「人口動態」をみると、死亡者数が出生者数を上回っており、出生、死亡の差からみる「自然動態」は近年マイナスで推移しています。転入、転出からみる「社会動態」についても、転出者数が転入者数を上回るマイナスを示し、転出超過傾向が継続しています。

平成28年度では、自然動態がマイナス300人、社会動態がマイナス137人であり、合計437人の人口減少となっています。この人口減少数は、平成26年度から約450人前後で推移しています。

◆人口動態◆

	自然動態(c)			社会動態(f)		人口動態(g)	
	出生者数(a)	死亡者数(b)		転入者数(d)	転出者数(e)		
平成24年度	272	626	-354	848	1004	-156	-510
平成25年度	261	557	-296	780	991	-211	-507
平成26年度	269	563	-294	808	951	-143	-437
平成27年度	256	595	-339	827	947	-120	-459
平成28年度	271	571	-300	793	930	-137	-437

注：(c)=(a)-(b)、(f)=(d)-(e)、(g)=(c)+(f)

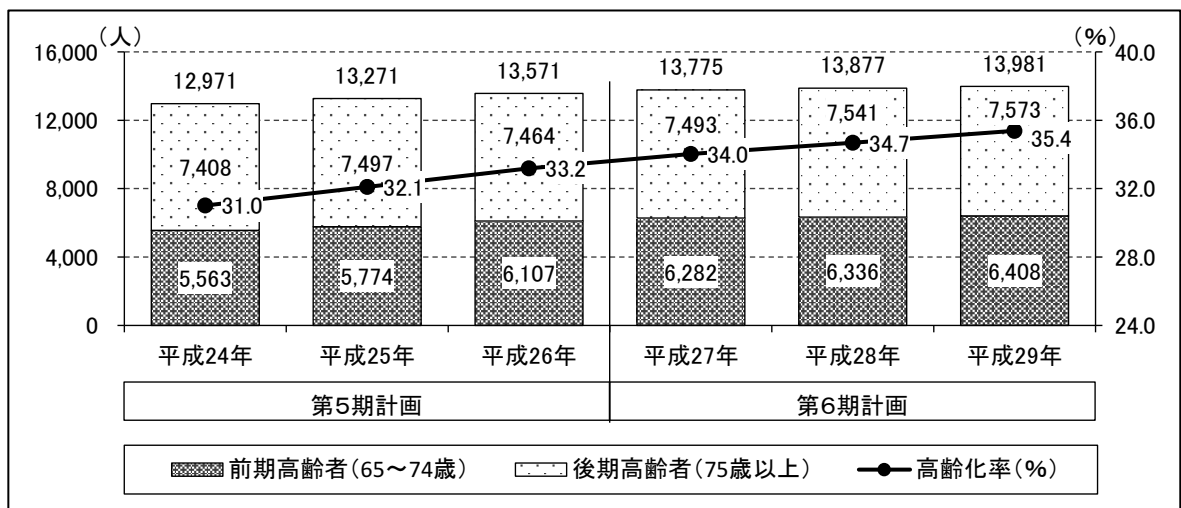
注：出生・死亡は「人口動態調査」、転入・転出は「住民基本台帳移動報告」

3 高齢者人口の推移

本市の高齢者人口（65歳以上）は年々増加傾向にあり、平成29年9月末現在では高齢化率は35.4%（13,981人）と、平成24年から4.4ポイントの上昇となっています。本市においては、超高齢社会に入っている状況です。

前期高齢者（65～74歳）は、平成29年で6,408人となっており、平成24年から845人の増加で推移しています。一方、後期高齢者（75歳以上）は7,573人となっており、平成24年から165人の増加となっています。前期高齢者の増加の方が大きくなっています。

◆高齢者人口の推移◆



	第5期計画期間			第6期計画期間			伸び率 (%)※
	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	
総人口	41,823	41,333	40,892	40,486	40,018	39,513	94.5
40～64 歳人口 (第2号被保険者)	13,314	12,993	12,687	12,443	12,217	12,005	90.2
65 歳以上人口 (第1号被保険者)	12,971	13,271	13,571	13,775	13,877	13,981	107.8
前期高齢者 (65～74 歳)	5,563	5,774	6,107	6,282	6,336	6,408	115.2
後期高齢者 (75 歳以上)	7,408	7,497	7,464	7,493	7,541	7,573	102.2

注：伸び率は、平成 24 年を 100 とした場合の平成 29 年の増減割合

◆高齢化率の推移◆

	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
高齢化率(%)	31.0	32.1	33.2	34.0	34.7	35.4
前期高齢者 (65～74 歳)	13.3	14.0	14.9	15.5	15.8	16.2
後期高齢者 (75 歳以上)	17.7	18.1	18.3	18.5	18.8	19.2

資料：住民基本台帳（各年 9 月末現在）

4 圏域別の高齢化の状況

本市では、日常生活圏域として「安来圏域」「広瀬圏域」「伯太圏域」の三つの圏域を設定しています。

各圏域ともに、近年、人口は減少傾向で推移しており、特に「広瀬圏域」と「伯太圏域」の減少が進行しています。また、高齢化率は「安来圏域」が33.8%、「広瀬圏域」40.3%、「伯太圏域」37.0%と、「広瀬圏域」が最も高くなっており、後期高齢者の比率も「広瀬圏域」が23.5%と高くなっていきます。

◆日常生活圏域の状況◆

		安来圏域	広瀬圏域	伯太圏域	安来市全体
面積(km ²)		120.8	204.3	95.9	421.0
人口(人)		27,740	7,197	4,576	39,513
	伸び率(%) H24→H29	-4.5	-9.0	-9.0	-5.5
世帯数(世帯)		10,160	2,575	1,526	14,261
	伸び率(%) H24→H29	2.4	-1.1	-0.8	1.4
世帯人員(人/世帯)		2.73	2.79	3.00	2.77
高齢者人口(人)		9,389	2,900	1,692	13,981
うち後期高齢者(75歳以上)		4,929	1,693	951	7,573
高齢化率(%)		33.8	40.3	37.0	35.4
うち後期高齢者(75歳以上)		17.8	23.5	20.8	19.2

資料：住民基本台帳（平成29年各年9月末現在）

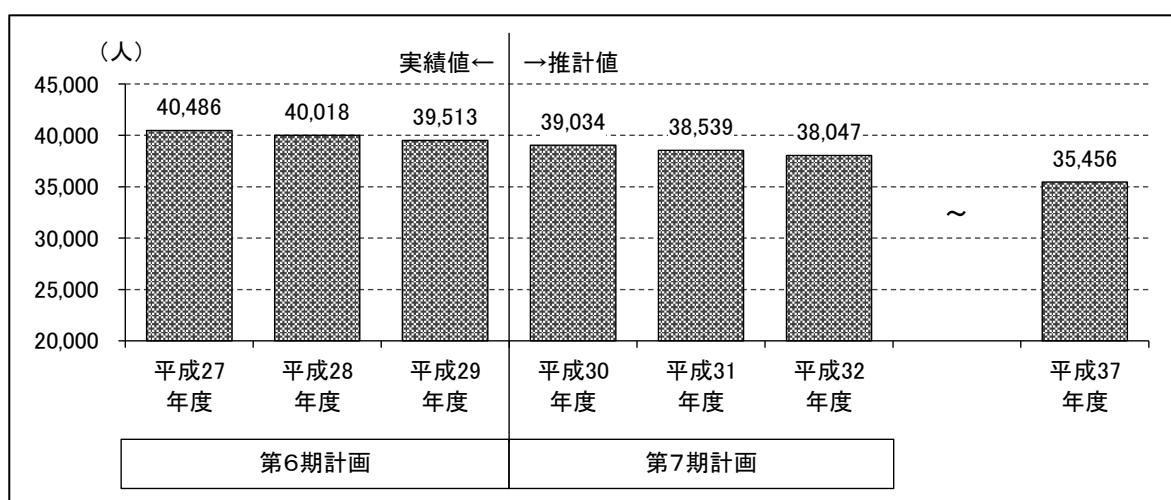
第2 高齢者人口の将来推計

1 人口・高齢者数の推計結果

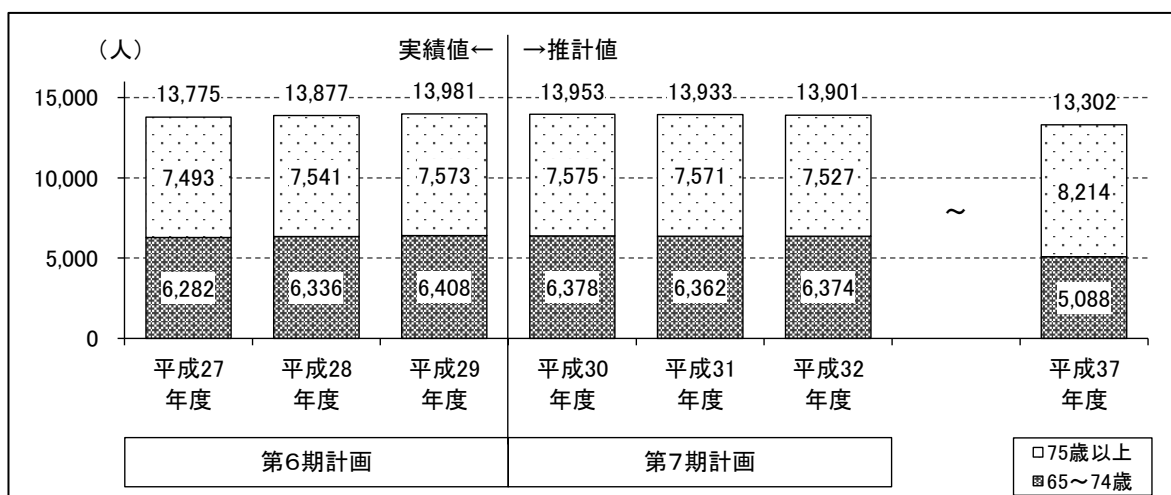
本市における今後の人口については、総人口は毎年約490人程度減少が続き、平成37年には35,456人程度と推計されています。一方、高齢者の人口は、平成29年の13,981人をピークに緩やかに減少し、平成37年には13,302人程度と推計されています。

本市における第7期計画期間については、総人口は減少していくものの高齢者人口はほぼ横ばいで推移していくという推計結果となり、人口減少の三つのプロセスにおける第二段階（老年人口維持・微減、生産年齢・年少人口減少）に入ったといえ、平成37年には第三段階（老年人口減少、生産年齢・年少人口減少）に入っていくと思われま

◆人口推計結果（総人口）◆



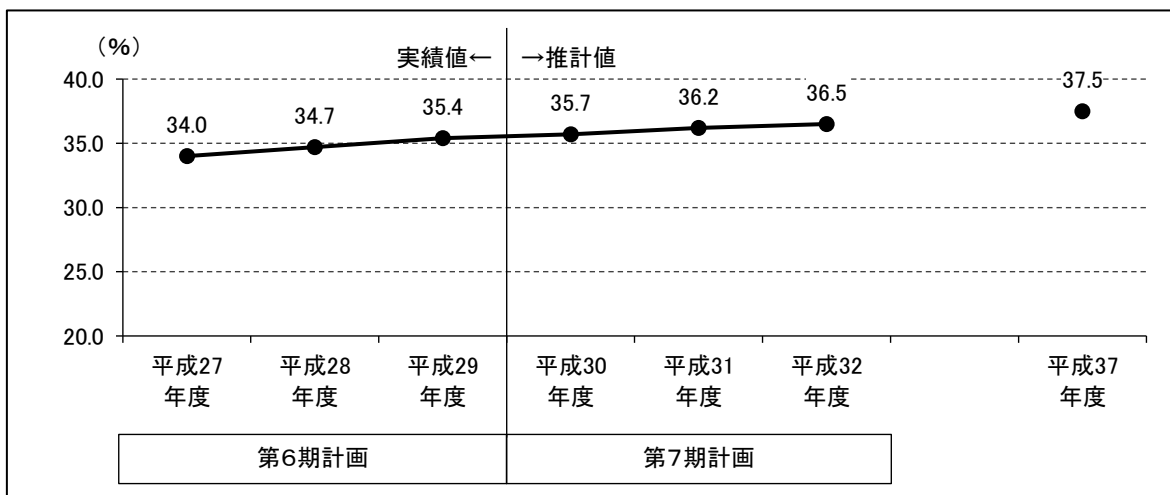
◆高齢者人口推計結果◆



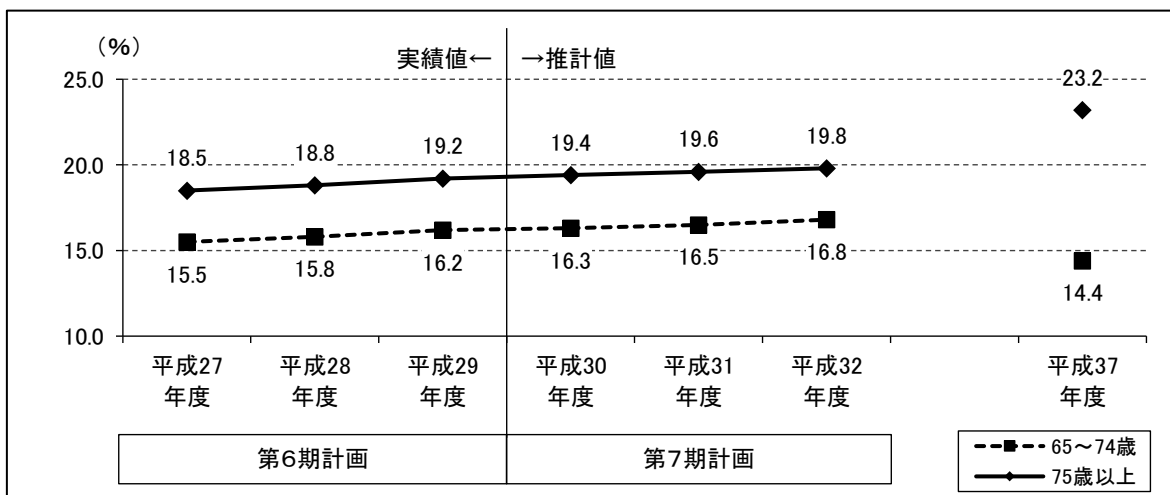
2 高齢化率の見込み

高齢化率は、高齢者人口の増加と総人口の減少に伴い上昇傾向で推移すると予測されます。平成27年で34.0%と、およそ3人に1人以上の割合となり、その後も上昇を続け平成37年には37.5%と推計されています。また、第7期計画期間の前期・後期高齢者は共に微増で推移していきますが、平成37年では前期高齢者が約5,100人（14.5%）、後期高齢者が約8,200人（23.3%）と後期高齢者が増加していきます。

◆高齢化率推計結果◆



◆高齢化率推計結果（年齢区分別）◆



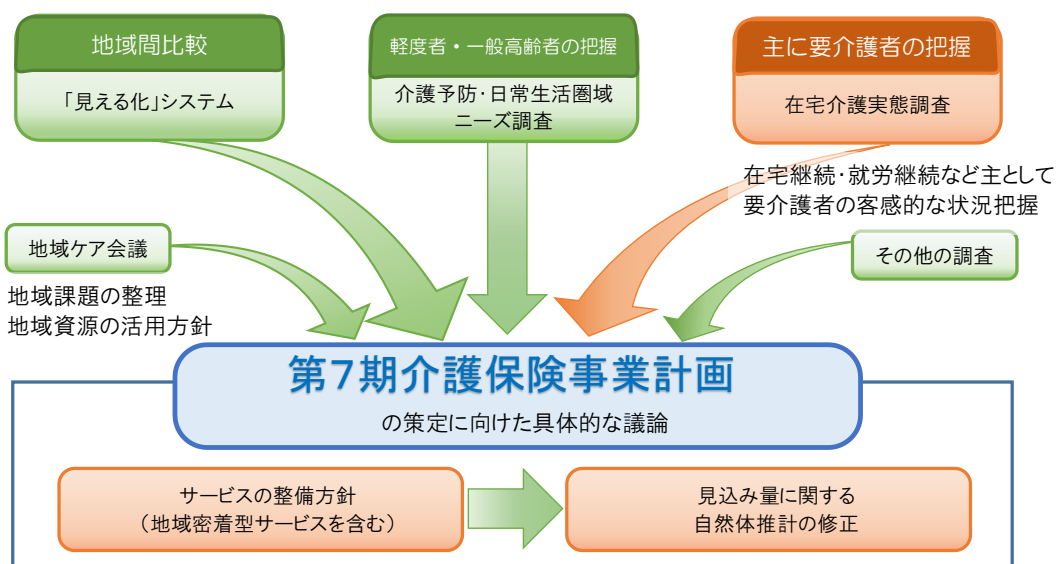
第3 アンケート調査による高齢者の状況

1 アンケートの概要

第7期計画を策定するにあたり、高齢者の暮らしや健康の状況をお聞きしニーズの把握を行うなど計画策定の基礎資料とすることを目的として、下記のとおりアンケート調査を実施しました。

区分	介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	在宅介護実態調査
1. 対象者	新しい介護予防・日常生活支援総合事業対象者のうち、一般高齢者及び要支援認定者（要支援1・2）	要介護認定を受けている人
2. 対象者数	3,000人	—
3. 抽出方法	無作為抽出	—
4. 調査方法	郵送による配布・回収	認定調査員による聞き取り
5. 調査時期	平成29年7月	平成28年12月～平成29年6月
6. 有効回収数 有効回収率	2,069 69.0%	241 —

◆第7期介護保険事業計画と各種調査の関係◆



資料：厚生労働省「在宅介護実態調査実施のための手引き」から加工

2 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【調査結果のまとめ】

問1 あなたのご家族や生活状況について

- (1) 家族構成は、「1人暮らし」が1割程度、「高齢者のみの世帯」が4割程度
- (2) 普段の生活で介護・介助は、「必要ない」が8割程度、「必要である」が2割程度
- (2) ①介護・介助が必要となった原因は、「高齢による衰弱」が2割程度で最も高く、次いで「骨折・転倒」
- (2) ②介護・介助を受けている相手は、「配偶者（夫・妻）」が3割程度で最も高い
- (3) 現在の暮らしは経済的に、「苦しい」が3割強、「ゆとりがある」は僅か
- (4) 住居は、「持家」が9割以上

問2 からだを動かすことについて

- (1) 階段を自力で昇っているかは、「している」が6割弱、「していない」が4割程度
- (2) 何もつかまらずに立ち上がるかは、「している」が7割程度、「していない」が3割弱
- (3) 15分間の歩行は、「している」が6割程度、「していない」が4割弱
- (4) 過去1年間の転倒経験は、「ある」が3割強、「ない」が6割強
- (5) 転倒に対する不安は、「不安である」が5割強、「不安でない」が4割強
- (6) 週1回以上の外出は、「外出している」が8割程度、「外出していない」が2割程度
- (7) 外出の回数は、「減っていない」が7割強、「減っている」が2割強
- (8) 外出を控えているかは、「はい」が2割程度、「いいえ」が8割弱
- (8) ①外出を控える理由は、「足腰などの痛み」が6割弱で最も高い
- (9) 外出の際の移動手段は、「自動車（自分で運転）」が5割強で最も高い

問3 食べることについて

- (1) 肥満度は、「普通体重」が7割弱、「低体重」が1割弱
- (2) 固いものが食べにくくなったかは、「はい」が3割程度、「いいえ」が7割
- (3) お茶や汁物でむせることがあるかは、「はい」が2割強、「いいえ」が8割弱
- (4) 口の渇きが気になるかは、「はい」が3割弱、「いいえ」が7割程度
- (5) 歯磨きを毎日するかは、「はい」が9割程度、「いいえ」が1割程度
- (6) 入れ歯は、「利用している」が6割程度、「利用していない」が4割弱
- (6) ①噛み合わせが良いかは、「はい」が8割弱、「いいえ」が2割弱
- (6) ②毎日入れ歯の手入れをしているかは、「はい」が9割程度、「いいえ」が1割弱
- (7) 半年での体重減少があったかは、「はい」が1割強、「いいえ」が8割程度
- (8) 誰かと食事をする機会は、「ある」が8割弱、「ない」が2割弱

問4 毎日の生活について

- (1) 物忘れが多いかは、「はい」が4割強、「いいえ」が5割程度
- (2) 電話番号を調べてかけているかは、「はい」が9割程度、「いいえ」が1割弱
- (3) 日付がわからないときがあるかは、「はい」が3割弱、「いいえ」が7割程度
- (4) 1人で外出は、「している」が8割弱、“していない”が2割強
- (5) 自分で買い物は、「している」が8割弱、“していない”が2割程度
- (6) 自分で食事の用意は、「している」が6割程度、“していない”が3割程度
- (7) 自分で請求書の支払いは、「している」が8割程度、“していない”が2割弱
- (8) 自分で預貯金の出し入れは、「している」が8割弱、“していない”が2割程度
- (9) 書類が書けるかは、「はい」が9割弱、「いいえ」が1割程度
- (10) 新聞を読んでいるかは、「はい」が9割、「いいえ」が1割程度
- (11) 本や雑誌を読んでいるかは、「はい」が7割程度、「いいえ」が3割弱
- (12) 健康に関心があるかは、「はい」が9割程度、「いいえ」が1割程度
- (13) 友人を訪ねているかは、「はい」が6割弱、「いいえ」が4割程度
- (14) 相談にのっているかは、「はい」が8割弱、「いいえ」が2割程度
- (15) 病人を見舞えるかは、「はい」が9割程度、「いいえ」が1割弱
- (16) 若い人に話しかけるかは、「はい」が8割程度、「いいえ」が2割弱
- (17) 趣味があるかは、「趣味あり」が6割程度、「思いつかない」が3割強
- (18) 生きがいがあるかは、「生きがいあり」が5割強、「思いつかない」が4割弱

問5 地域での活動について

- (1) 会・グループ等への参加は、“参加している”は「⑥町内会・自治会」が高く、「④学習・教養」が少ない 収入のある仕事をしている人が3割程度
- (2) 地域活動に参加者として、“参加したい”が6割弱、「参加したくない」が3割強
- (3) 地域活動に世話役として、“参加したい”が3割強、「参加したくない」が5割強

問6 たすけあいについて

- (1) 愚痴を聞いてくれるのは、「配偶者」が最も高く、次いで「友人」が高い
- (2) 愚痴を聞いてあげるのは、「配偶者」が最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」
- (3) 病気のと看病や世話をしてくれるのは、「配偶者」が最も高く、次いで「同居の子ども」が高い
- (4) 病気のと看病や世話をしてあげるのは、「配偶者」が最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が高い
- (5) 家族・友人以外での相談相手は、「そのような人はいない」が最も高い
- (6) 友人・知人と会う頻度は、“よくある”が7割程度、“あまりない”が2割程度

- (7) ここひと月で何人の友人・知人と会ったかは、「10人以上」が最も高く、次いで「3～5人」が高い
- (8) よく会う友人・知人との関係は、「近所・同じ地域の人」が最も高い

問7 健康について

- (1) 現在の健康状態は、“よい”が7割程度、“よくない”が2割程度
- (2) 幸福度は、「5点」が最も高く、平均点は7点
- (3) ここひと月で、ゆううつな気持ちになったりしたことがあるかは、「はい」が4割弱、「いいえ」が5割強
- (4) ここひと月で、物事への興味がわかなかつたりしたことがあるかは、「はい」が2割強、「いいえ」が7割程度
- (5) お酒は、“飲む”が4割程度、“飲まない”が5割
- (6) タバコは、“吸っている”が1割弱、“吸っていない”が9割弱
- (7) 治療中・後遺症のある病気は、「高血圧」が最も高く、次いで「目の病気」が高い

3 在宅介護実態調査

【調査結果のまとめ】

(1) 家族等による介護の頻度

- 「ほぼ毎日」が55.6%と最も高く、次いで「ない」が21.2%

(2) 介護のための離職の有無

- 「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が約8割

(3) 主な介護者の勤務形態

- 「働いていない」が43.7%と最も高く、次いで「フルタイム勤務」が36.8%、「パートタイム勤務」が17.4%

(4) 主な介護者の働き方の調整の状況

- 「特に行っていない」が41.1%と最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が29.9%

(5) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護

- 「認知症状への対応」が24.2%と最も高く、次いで「入浴・洗身」が21.1%